

コア・タイムス

[The Center for Overall Research on Education]

発行 加西市立総合教育センター

加西市北条町古坂1173-14 TEL 0790-42-3723 URL <http://kasai-core.net>

今月の紙面

- ① “チーム総合教育センター”を合言葉に、学校・家庭・地域のサポート等に頑張ります!
- ② 図書コーナー利用・教育相談窓口の案内
- ③ 優秀賞おめでとうございます!!
- ④ 「家庭学習ハンドブック」活用をお願いします

“チーム総合教育センター”を合言葉に、 学校・家庭・地域のサポート等に頑張ります!

加西市立総合教育センターは、本市の教育の充実と振興を図ることを目的として平成23年4月に開設し、本年度で7年目を迎えます。「教育推進」と「育成支援」の2つの係で様々な事業を展開しています。教育推進係では、教職員の専門性と実践的指導力の向上を図るための研修講座、喫緊の教育課題に対しての研究・教材開発、教育資料の収集及び提供、小中連携教育の推進等を実施しています。さらに、図書や視聴覚資料の貸出業務（市民の皆様も借りることができます）も行っています。詳しくはセンターホームページをご覧ください。また、育成支援係では、青少年の健全育成に関すること、青少年健全育成に係る団体等の支援、適応教室、発達支援、教育相談等の事業を行っています。

センターの本年度のテーマは、『学校・家庭・地域を応援し 各種関係機関等を繋ぎ連携する チーム総合教育センター』です。“新しい時代を切り拓く ころ豊かで自立した人づくり”を目指した取組を支援・応援する活動等を、職員一同力を合わせて、一生懸命に取り組んでまいります。市民の皆様方の温かいご指導・ご協力等、よろしくお願い申し上げます。

所長 植田 正吾

コア(CORE)とは...

加西市立総合教育センターのことを通称としてコア(CORE)と呼びます。これは、加西市立総合教育センター(The Center for Overall Research on Education)の英語名の頭文字を取ったもので、「核」「中心」を意味します。本センターが加西市の教育振興の核となるようにとの願いを込めて命名されました。

図書コーナー利用の案内

【利用対象】 加西市内に在住または勤務する方

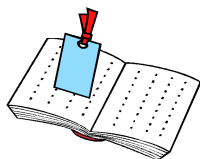
【利用日時】 火・水・木 8:30~17:00

月・金 8:30~20:30

【貸出について】

期間：2週間

冊数：5冊まで



※ 貸出には、事前に利用者登録をする必要があります。利用者登録を希望される方は、センターまでお越しください。

教育相談窓口の案内

TEL. 42-3730 (教育相談専用)

“いじめ・不登校・発達障害など”

- 特別教育相談 (臨床心理士) ※要予約
毎週木曜日 9:00~17:00
- 発達支援相談 (臨床発達心理士) ※要予約
毎週水・金曜日 9:00~12:00
- 夜間相談 (臨床心理士) ※要予約
毎週月・金曜日 18:30~20:30
- 一般教育相談 (相談員) ※予約不要
月曜日~金曜日 9:00~17:00

優秀賞 おめでとうございます!!

平成28年度 兵庫県PTA広報紙コンクール

優秀賞 北条小学校PTA広報紙「ならの実」

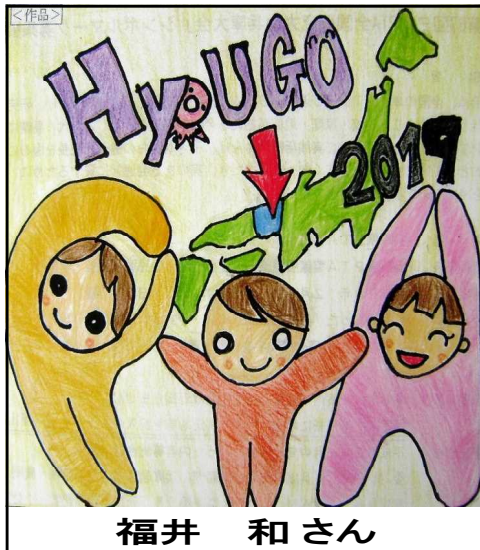
PTA広報紙は、家庭・学校・地域を結ぶ重要な役割を担っており、PTA会員の方々の熱心な活動により、情報発信への取組がいっそう充実してきています。

恒例となりました「兵庫県PTA協議会 広報紙コンクール」は31回をむかえ、加西市内の全小中学校のPTA広報紙も毎年応募しています。平成28年度の応募総数は277点。それらの中より、北条小学校PTAの広報紙「ならの実」が優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。学年紹介で目標を掲げ、全員写真を大きく扱い目を引く構成が評価されました。

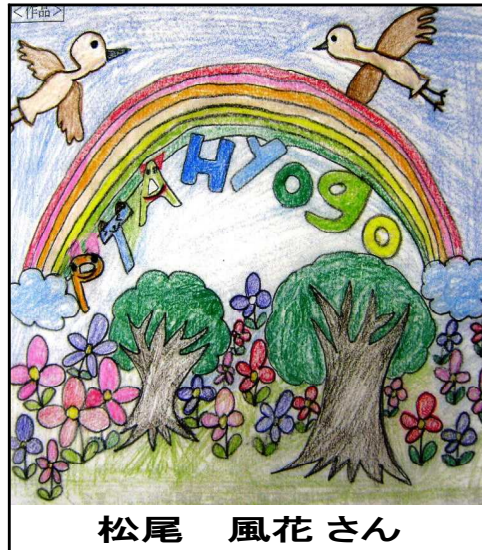


日本PTA全国研究大会 兵庫大会シンボルマーク 審査会

優秀賞 西在田小学校 5年 福井 和さん、松尾 風花さん



福井 和さん



松尾 風花さん

平成31年に兵庫県で開催されます「日本PTA全国研究大会 兵庫大会」のシンボルマークの審査会が行われ、応募総数761点の中から、西在田小学校5年生の福井 和さん、松尾 風花さんの作品が優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。「兵庫県のイメージを伝えるとともに、力強い未来と夢を描いている。」との講評をいただきました。

「家庭学習ハンドブック」活用のお願い

子どもの「学ぼうとする力」は、子どもが安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることにより育ちます。

つまり、子どもは家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感をもち、それらが「学ぼうとする力」の育ちにつながるのです。学校では、学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭と連携することで、より確かに定着するものと考えます。

昨年度、「家庭学習ハンドブック」の改訂版を作成し、市内全児童生徒に配付しました。小学校1年生から中学校3年生までの学年に応じた系統性のある家庭学習の積み上げができるよう、これまでの内容に、「学習時間の目安」や「読書の方法」「親子のふれあい」を加えた内容になっています。

今一度、お子様と一緒に目を通していただき、ご活用くださいますようお願いいたします。

